

平成 28 年度第 4 回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	平成 29 年 3 月 21 日（火） 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	企業局 4 階大会議室
議 題	(1) 深夜乗合タクシーの運行について（㈱桔梗ハイヤー） (2) 地域公共交通バリア解消促進等事業（ノンステップバス）について (3) 平成 29 年度改善計画（案）について (4) 地域公共交通再編事業について (5) 函館市 L R T 整備計画について (6) その他
出席者	協議会委員 (計 23 名) 奥平委員，木村委員，大橋委員，森委員，川内委員，佐々木委員，富樫委員，鈴木委員，杉澤委員，工藤委員，矢吹委員，伊藤委員，塚原委員，種田委員，渡邊委員，川村委員，内藤委員，上野山委員 横田委員（一般社団法人函館地区ハイヤー協会 専務理事 辻廣氏 代理出席）， 滝野澤委員（函館地区交通運輸産業労働組合協議会 副議長 佐々木氏 代理出席） 西海委員（北海道渡島総合振興局地域政策課 主査 三浦氏 代理出席）， 畑山委員（北海道開発局函館開発建設部道路計画課 道路調査官 坂本氏 代理出席）， 菊地委員（北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課 主査 早坂氏 代理出席） ワーキンググループ委員 (計 3 名) 金岩委員，廣瀬委員，宿村委員 オブザーバー (計 1 名) 七飯町 総務部長 北村 到 氏 関係者 (計 2 名) (㈱桔梗ハイヤー 専務取締役 吉田 建蔵 氏 (㈱桔梗ハイヤー 営業部長 日下部 雅一 氏 随行者 (計 6 名) 函館バス(㈱) 取締役バス事業部長 内澤 博昭 氏 函館バス(㈱) バス事業部営業課係長 大川 諒 氏 函館地区バス協会 渡部 浩典 氏 函館市都市建設部都市計画課長 神 重幸 氏 函館市都市建設部都市計画課 主査 春山 英之 氏 北海道運輸局鉄道部計画課 計画係長 武部 孝路 氏 報道関係 (計 1 社) 函館新聞社 傍聴者 (計 1 名)
欠席者	協議会委員 (計 4 名) 武下委員，桜井委員，齋藤委員，縁蒔委員
事務局の出席者の職氏名	企画部計画推進室長 田畑 聡文 企画部計画推進室政策推進課 主査 江良 規生 企画部計画推進室政策推進課 主事 信田 泰子

1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：信田主事】

2 報 告 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

○ 平成 28 年度第 3 回函館市生活交通協議会(書面協議会)に関する結果報告

3 議 題

(1) 深夜乗合タクシーの運行について(株)桔梗ハイヤー)

【奥平会長】

- ・ 議題(1)「深夜乗合タクシーの運行について」を、資料に基づき、事務局と(株)桔梗ハイヤーから説明いただき、その後皆様からご意見やご質問を頂戴したい。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

【関係者／(株)桔梗ハイヤー：日下部営業部長】

(資料 1 に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【奥平会長】

- ・ 質問等なければ、承認行為に移りたい。
本件について、了承するという事によろしいか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。

(2) 地域公共交通バリア解消促進等事業(ノンステップバス)について

【奥平会長】

- ・ 議題(2)「地域公共交通バリア解消促進等事業(ノンステップバス)について」を、資料に基づき、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(資料 2-1, 資料 2-2 に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの事務局からの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質 疑>

【奥平会長】

- ・ 質問等なければ、協議会として、平成 29 年度の事業計画（案）を承認し、国に提出するということによろしいか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。

(3) 平成 29 年度改善計画（案）について

【奥平会長】

- ・ 議題(3)「平成 29 年度改善計画（案）について」を、先に事務局から、本件を協議会の協議事項としている理由等について説明をいただき、その後、計画内容について資料に基づき、函館バス(株)から説明をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ バス路線は、国や北海道、市町村がそれぞれの補助制度のもと、適切な役割分担により、その維持・確保が図られており、本市においても「函館市バス生活路線維持費補助金交付要綱」に基づき、国の補助対象外となる路線について一定の補助を行っている。
- ・ この改善計画案は、本市の補助要綱に基づき、市が単独で補助を行う函館市生活交通路線のうち、前年度の平均乗車密度が 5 人未満の不採算路線に対して、起終点や経路、運行回数などについて、見直しを行う改善計画を、本協議会における意見を尊重しながら作成することとしており、毎年バス事業者から市に提出していただき、本協議会にお諮りしているものである。
- ・ 今回、改善計画案として提出されている東部 4 地域関係路線については、合併時の協議において、当分の間継続して補助対象路線とすることとされているので、合併時の経過もご理解のうえ、ご意見を頂戴したい。

【函館バス(株)：金岩バス事業部次長】

(資料 3 に基づき説明)

- ・ 昨年、東部 4 地域を含め、すべての路線バスにドライブレコーダーを設置し、事故防止等の乗務員研修に活用しているほか、中央警察署、西警察署からの指導の様子を撮影し、乗務員に見せ、安全面の意識の向上を図ったほか、

社員一丸となり、街頭に立ち、黄色信号では交差点に進入しないことや、一時停止をしっかりと守ることなどを指導している。

- ・ 安全面において投資をしているなか、本計画に掲載されている3路線は、前年度に比べ補助金額が下がっている。前年度も、その前年度と比べると補助金額が下がっていることから、2年続けて若干ではあるが収支改善が図られている。
- ・ 市の病院バスや温泉バス等を含めた東部4地域路線全般に関し、再編実施計画策定に向けた協議を今後もよろしくお願いしたい。

【奥平会長】

- ・ 函館バス㈱から提出された平成29年度改善計画案を受け、市の考え方を事務局から説明願います。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 函館バス㈱から提出された改善計画案について、実際にバスに乗り込み、利用者への聞き取りを実施されるなど、利用者の少ない便を減便し、効率化を図りながらも、地域住民の意見を反映し、時刻改正や接続便の見直しを行ったほか、地域住民や観光客に対する利用促進策に取り組んでいる実態にあり、当該3路線すべてが東部4地域関係路線で、合併時の経過や地域住民の足として非常に重要で生活に欠かせないことから、平成29年度も、この路線を補助対象路線とすることとしたいと考えている。

また、函館市地域公共交通網形成計画では、持続可能な公共交通網の構築の実現に向け、「東部地区バスの運行形態の見直し」について、実施施策として掲げていることから、函館バスさんとともに、見直しについての協議を進めてまいりたいと考えている。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質 疑>

【奥平会長】

- ・ 質問等なければ、協議会として、改善計画案を承認するとともに、これら4地域関係路線については、引き続き、補助対象とするということによろしいか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。

(4) 地域公共交通再編事業について

【奥平会長】

- ・ 議題(4)「地域公共交通再編事業について」を、資料に基づき、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(資料4に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【富樫委員】

- ・ 高齢者もバスを利用しているという現状のなか、バスセンターや函館駅前などで、行先を系統番号で確認している方々を見かける。これにアルファベットが付くと利用者がどのような反応を示すのか心配になる。今後、高齢者が増えていくことを念頭に入れての計画であると解釈して良いか。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ わかりやすさの観点から、この案がわかりやすいのではないかとということで検討を進めている。高齢者にとってアルファベット表記がわかりやすいものかどうかといった点については、富樫委員含め、御意見を聞きながら検討を進めてまいりたい。また、アルファベット表記だけでなく、わかりやすい表記に関する御意見があれば、協議会の場に限らず、頂けると幸いである。

【富樫委員】

- ・ この件については承知した。もう一点、これは考えてきたことであるが、バスと道路の関係について、電車の場合は電停がある。バスの場合は低床バスであっても、地面から低床バスの一段目に上がる際、バス停によって違う。縁石に足をかけてからバスに乗る場合があり、その場合は非常に不安定である。降りるときも、バスからまず縁石に降りる場合がある。私以外にも、転倒しそうになる場面を見たことがある。例えば、縁石の幅を広くすることが、高齢者の利用の際に安全の面から効果的ではないかと感じている。それから、降車の際、バスのドアにつかまると動くので、高齢者にとっては危ない。安全の面からは、こういったことも考えていかなければならないと思っている。

【奥平会長】

- ・ 富樫委員からは建設的な御意見をいただいた。今後のワーキンググループ

会議での協議でも参考になると思う。事務局においても引き続き検討をお願いしたい。他に無ければ、協議会として、方向性（案）を承認するということでよろしいか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。

(5) 函館市LRT整備計画について

【奥平会長】

- ・ 議題(5)「函館市LRT整備計画について」、資料に基づき函館市企業局交通部から説明をお願いしたい。

【函館市企業局交通部：廣瀬施設課長】

(資料 5-1, 5-2, 5-3, 5-4 に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

【佐々木委員】

- ・ 質問ではなく、普段、市電に乗っていて思うことを述べさせていただく。高齢者が座席から立ち上がる際に支えになるものがない。電車の中を移動する際にも、手すりの代わりになるものがない。そういうものがあればいいと前から思っていた。

【函館市企業局交通部：廣瀬施設課長】

- ・ 座席から立ち上がる際のパイプのことについて、今回新しく作る車両には、何か所かはついているが、5人掛けの席の途中にはついていないので、途中に1本追加するようなことが可能か検討したい。また、従来から走っている古い車両についても、年間1～2両のペースで天井に向かう縦のパイプを増設している。もう少し時間はかかるが、こうした車両は増やしていく予定である。

【佐々木委員】

- ・ つり革の高さも、高齢の女性だとつり革にも届かない状態で、混んでいる時に立って居なければならぬ場合に、支えになるものが少ないのは危険と見て見ている。この点についても是非工夫して頂きたい。

【函館市企業局交通部：廣瀬施設課長】

- ・ つり革の高さについても、新造車両で工夫したいと思う。従来から走っている古い車両も、3年ごとに車検整備が入るが、そのタイミングで、つり革の長さを長くして、低い位置でもつかめるように工夫しており、こうした車両も今後は増やしていく予定である。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、協議会として、本計画の変更を承認するという事によるのか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ ありがとうございます。

(6) その他

【奥平会長】

- ・ 他に何かあるか。事務局から何かあるか。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：信田主事】

- ・ 次回の協議会について、日程が近くなったら、改めてご案内したい。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

4 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：信田主事】